

で彼が戦っていたのが白血病だったことを知ることはありませんでした。そして David は静かに 1 人、ステージから去って行きました。

David Noakes とは、どのような研究者であり、人物だったと、次の世代に伝えたら良いでしょうか。ある人は、振り返り、彼のことを Giant と表していますが、私たち夫婦は David のことをカナダ生まれの少しお茶目でシャイな侍（出人能玖珠）と捉えているかもしれないね、と話したことがあります。年が明け、生前に David が受けていたインタビュー（David Noakes Oral History Interview: <http://scarc.library.oregonstate.edu/oh150/noakes/video-noakes.html>）の内容を見返してみました。そこで彼は、自分がしていることは恩返しである、と表現していました。おそらく彼は、森羅万象、地球の自然に敬意を払い、その荒廃に誰よりも心を痛め、人生を賭して我々後進のために

粉骨砕身していたのだと思います。David 流のユーモアと茶目っ気を隠れ蓑にしながら、今、残された私たちができることは、我々が慕ってやまなかった David Lloyd George Noakes を、決して最後の侍にしないことです。私も、その志を受け継ぐ者の一人になりたい。そう思っています。David 先生に、心より哀悼の意を表します。（棟方）

（前川光司 Koji Maekawa：〒060-0808 北海道札幌市北区北8条西5丁目 北海道大学 e-mail: kmaekawa@apost.plala.or.jp；荒木仁志 Hitoshi Araki：〒060-8589 北海道札幌市北区北9条西9丁目 北海道大学大学院農学研究院動物生態学研究室 email: araki@res.agr.hokudai.ac.jp；棟方有宗 Arimune Munakata：〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉149 宮城教育大学生物学教室 e-mail: munakata@staff.miyakyo-u.ac.jp）

会記・Proceedings

魚類学雑誌 68(1):79-79
2021年4月25日発行

2020年度年会及び関連する会合について

昨年10月31日（土）-11月1日（日）に開催された「2020年度年会（ウェブ大会）」の詳細については、会員通信に掲載されている「2020年度魚類学会年会（ウェブ大会）の準備・開催報告」をご覧ください。

例年は年会時に開催されていた編集委員会、自然保護委員会及び代議員総会は、それぞれ2020年9月4日（金）14:30-17:00、2020年9月22日（火・祝）9:30-12:00、及び2020年10月2日（金）

13:00-15:30にZoomのリアルタイム配信によるウェブ開催として年会の期日より前倒しで実施されました。

また、2020年度会員総会については年会中の開催ではなく、10月22日（木）-11月1日（日）に日本魚類学会ホームページのマイページ上で資料を掲載し、会員の皆様からのご質問とご意見をメールで受け付ける方法によって開催されました。会員の皆様から特にご意見・ご質問は寄せられませんでしたので、翌日に終了とされました。

代議員総会と会員総会の議事録については、日本魚類学会ホームページのマイページ上にも掲載されておりますので、併せてご確認ください。